始めよう！ 生涯学習ボランティア

福祉・防災・環境・地域経済・生涯学習・まちづくり…今、市民一人ひとりが、何らかのボランティアをする時代に入っています。今回は、平成13年4月にスタートし、まもなく2周年を迎える「生涯学習ボランティアバンク」についてご紹介します。市民の身近な生涯学習システムとして、気軽に登録し、活用してください。

問生涯学習課
☎231・9702

活用

○制度の基本目的

↓市民が自主的に学び合うきっかけに

この制度は基本的に、市民が相互に連絡し合い、自主的に学び合うきっかけとしていただくことを主な目的としています。

◆指導の割合・回数とも増加

市民がどのように活用しているかを把握するため、市が行ったアンケートによると、全登録者のうち実際に指導を行った登録者の割合は、平成13年度の27％から平成14年度の45％に増加しています。指導回数も増加傾向にあります。

活用者の感想

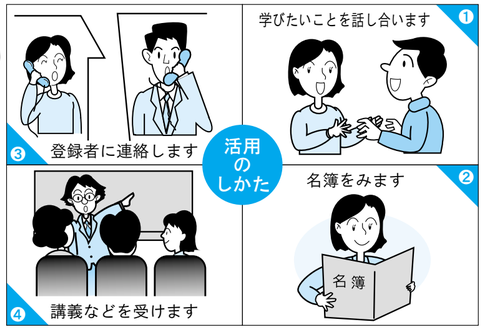
＊近所に教えてくれる人がいて驚いた。身近な場所で講座を受けられてよかった。
＊登録者に講師を依頼する時、仲間同士がまとまって準備に取り組め充実感があった。

○活用のしかた

↓名簿を見て、登録者に直接連絡

各公共施設やコミセンに、登録者の連絡先が掲載された「登録者名簿」と、そのダイジェスト版「ボランティア案内」が置いてあります（それぞれ年に数回改訂）。これを参照して直接登録者に連絡してください。閲覧できないときは、直接生涯学習課にお問い合わせください。

活用する側は、材料費程度は負担しますが、原則的に講師（＝登録者）への謝礼の支払いは、ないものとしています。また、宗教・政治・直接営利が目的の活動には利用できません。



登録

◆最多は「芸術・趣味・娯楽部門」

ボランティアバンクは7つの部門から構成されています（右表）。内訳は、ほぼ半数が「芸術・趣味・娯楽部門」。音楽系（18件・生け花・書道などの生活文化、絵画や囲碁・将棋・俳句などです。次にゴルフや卓球・ダンスなどの「健康・スポーツ部門」（35件）。以下、ITや語学などの「情報部門」、郷土史などの「自然・社会生活部門」「生活技術部門」「子ども活動部門」と続きます。

いつでも どんな分野でも 市内外問わず
年齢・国籍問わず 自薦でも他薦でも
資格なくても 個人でも団体でも プロ・アマ問わず

◆次代への伝達が期待される「職業・生産技術部門」

一方で「職業・生産技術部門」の登録はほとんどありません。今後の農家や土木・建築技術者、商店を営む方などの登録によって異業種交流や、次代への伝達が期待されます。また、現在未登録で、市民が登録者を探している項目は右表のとおりです。

◆登録者に「教える喜び」

登録者からは、「これからの生活に文化的豊かさを求めているのを感じた」「教える立場になってみて、何気なくやってきたことを見直す良い機会を持つことができた」「健康のためにスポーツを、と考えていても、何をしたらよいかわからない人が多いのではと感じた」など、教えることの楽しさや、参加者の熱心さへの驚きと喜びが多く寄せられています。

◆行政の支援求める声も

半面「活動の周知がむずかしく、参加者を集めるのが大変」「テキストづくりの援助をしてほしい」など、PR・資料作成、また活動場所の確保について、行政の支援が必要であるとの声も挙がっています。

○登録のしかた

◆多くの人に道を開放

海老名市生涯学習ボランティアバンクは、対象者・対象分野などを限定せず、多くの人に登録の道を開放していることが大きな特長です。「私にもできるかな」と思った方は、ぜひ登録してください。

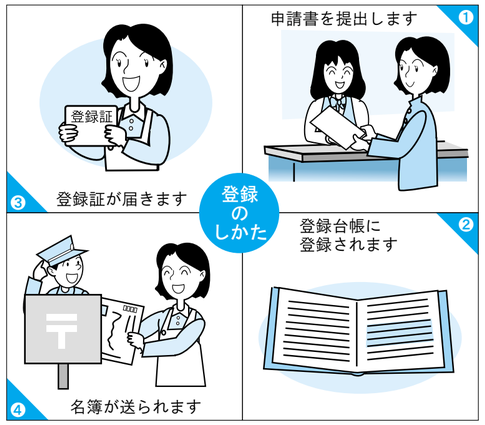
＊いつでも、どんな分野でも
＊個人でも団体でも
＊年齢・国籍を問わず
＊自薦でも他薦でも
＊資格がなくても
＊プロでもアマでも
ただし、政治・宗教や直接営利が目的の登録はできません。

◆申請書は公共施設にあります

登録用紙（申請書）は、各公共施設やコミセンに置いてある冊子「ボランティアバンク案内」中にあります。記載例を参考に記入し、生涯学習課（文化会館・中央公民館内）に提出してください。申請書は電話でも請求できます。申請書には、どんな内容を指導できるか、できるだけ具体的に記入してください。

申請後は、審査を経て、ボランティアバンク登録者台帳に登録します（申請者へは、2週間くらいで市から登録証が届きます）。登録されると、活用希望者があったときは、希望者から登録者へ連絡がありますので、直接日程などの調整を行ってください。その他、市から講座などの講師をお願いすることもあります。

なお、登録された方は、原則として市が費用を負担して、保険（神奈川県ボランティア共済保険）に加入します。



海老名市生涯学習ボランティアバンク部門別一覧

平成15年2月1日現在

部門	区分	登録者のいる項目	市民から要望のあった未登録項目
健康・スポーツ（35件）	健康	ストレッチ、健康体操、健康管理、メンタルタフネス	栄養学
	スポーツ	ウオーキング、エアロビクス、サッカー、野球など	バドミントン、トランポリン、新体操、ラグビー、ボウリング、バレーボール、弓道、ゲートボール
芸術・趣味・娯楽（70件）	音楽	ピアノ、ハーモニカ、フルート、琴など	ギター、オカリーナ、バイオリン
	絵画	ちぎり絵、油彩、水彩、淡彩水墨画など	版画
	文芸	漢詩、吟詠、詩吟、短歌、俳句	川柳、百人一首
	生活文化	パッチワークキルト、生け花、フラワーアレンジメント、書道など	押し花
	その他	囲碁、将棋、写真、盆栽など	映画、歌舞伎、アユ釣り、チェス
生活技術（13件）	生活技術	きもの着付け、イベント着付け、園芸、造園など	郷土料理、ケーキ作り、パン作り、ファッション、ラッピング、犬のしつけ
情報（23件）	IT	ワープロ・パソコン操作、インターネット通信など	機関紙・会報誌等の作り方
	語学	英語、中国語、ロシア語、英文日記	韓国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、手話、話し方
職業・生産（1件）	経営労務	経営労務、中小企業経営指導	酒づくり、野菜栽培、林の管理、統計、電子工業、建築デザイン、建築史、製図
自然・社会生活（11件）	自然	環境問題、自然観察	天文学、野鳥観察、河川
	社会生活	歴史、社会科学、社会福祉、人材育成など	古文書、道祖神、心理学
子ども活動（7件）	子ども活動	伝承あそび、ペーパークラフト、リトミック、エレクトーンなど	絵本の読み方

生涯学習ボランティアの先進国では…

◎カナダ
あるまちでは、子どもたちが学校の帰りに、通学路にある高齢者の家に立ち寄り、学校で作った工作や絵を見てもらう。その家のおじいちゃん・おばあちゃんは、ほめたり、アドバイスをする。「福祉」と「世代を超えた学習」が一体となっている。

◎デンマーク
5人以上の学習サークルに対して市が支援している（余暇法）。これは農業協同組合制度の創始者・グルントヴィの思想から生まれた制度といわれている。生涯学習も農協も「お互いに持っている力を出し合い、よい郷土をつくっていこう」という基本の考え方は同じである。

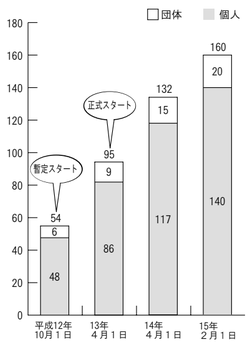
◎アメリカ
文章が得意な人が、音楽やゴルフの得意な人たちに文章の書き方を教え、音楽とゴルフを教えてもらうなど、お互いが得意分野を教え合う「交換教授」と呼ばれるシステムが整備されているまちがある。

ボランティアバンク登録活用制度

「生涯学習ボランティアバンク登録活用制度」は、平成12年7月1日から登録者の募集を始め、10月1日に個人・団体併せて54件の登録者で暫定的に始まり、翌年4月1日、95件の登録者で正式にスタートしました。去年4月1日は132件、今年2月1日現在では160件（内訳は、個人登録140・団体登録20）と、登録者数は順調に伸びています。

また同制度は、市の施策の基本方向を示す「海老名市第三次総合計画後期基本計画」の中で、生涯学習推進体制充実のため、人材の発掘と活用の主要な施策の一つとして位置付けられています。

登録は個人・団体160件 総合計画に施策として位置付け



人とふれあう喜び 人に必要とされる喜びがあります（相さん）

登録者にインタビュー

子ども活動部門
リトミック
相（あい）千鶴さん（上今泉在住）

私は現在、今泉小学校で活動しているダンスクラブと、綾瀬ホームという知的障害者施設で、音楽活動のお手伝いをさせていただいています。ボランティアを通して、人とふれあう喜び・人に必要とされる喜びがあります。そして自分自身が社会の一員であることも再認識させられます。ボランティア制度が、もっと社会の身近なものとして広がればすてきだと思います。

芸術・趣味・娯楽部門
生け花
永富悦子さん（国分寺台 在住＝前列左から2人目）

生け花サークル「みやび会」と共に10余年、励まし合い、補い合い、育て合い、歳を重ねながら、四季花々に接してきました。〝一輪の花〟を生かして、心豊かな日々に感謝！

芸術・趣味・娯楽部門
ハワイ音楽・ウクレレ
高田慎一郎さん（町田市在住＝左端）

わかば会館や福祉会館で練習しています。演奏会ではリスナーの方の反応があって、大変楽しく演奏できました。今年は2カ所くらい増やしたいと思っています。

ボランティアこそ 生涯学習の担い手

せぬま・かつあき
（桜美林大学生涯学習センター長・教授　元文部省社会教育官、生涯学習に関する著書多数、市の登録者研修会講師）

瀬沼　克彰さん

生涯学習ボランティアバンクが市の総合計画に位置づけられている自治体は全国的にもまだ珍しいケースです。海老名市が生涯学習をいかに重視しているかが分かります。

21世紀の生涯学習は、これまでの行政主導から、市民主導に変わります。ボランティアこそ、その主要な担い手です。スタートして2年ですから仕方がありませんが、160人という登録者数はまだ少ない。人口の比率からみて、最低でも300人くらいはいるとよいのではないかと思います。

健康・スポーツ部門
山歩き・登山
三野輪ちよさん（国分寺台 在住＝左端）

去年の春は、「山に行きたい」という身障者の青年2人と道志川にハイキングに行きました。水遊びなどの新鮮な体験に大変喜んでくれました。これからもこうした機会があれば、と思います。

健康・スポーツ部門
さわやか健康体操、体スッキリストレッチ
NPO法人日本健康運動指導士会神奈川支部理事・相川朝子さん（上郷在住）

私たちの団体は、厚生労働省認定・健康体力づくり事業財団の健康運動指導士や栄養士などで構成されています。これから運動を始めようと思っている方や、栄養について疑問に思っていることがあるなど、健康づくりに関して勉強していきたいと思っているグループの方、ぜひ問合せを！　お待ちしています。

健康・スポーツ部門
ダンス（よさこい）
えびな桜舞会代表
平本信子さん（海老名商工会議所）

今や日本中で祭りの輪が広がっている「よさこい踊り」の最も良いところは、老若男女関係なく、だれもが楽しく踊れることです。はじける笑顔とまぶしい汗が、踊り手に躍動感を与えます。

健康・スポーツ部門
健康管理
生活習慣病の予防などの啓発
西垣　昭さん（東柏ケ谷在住）

健康に役立つワンポイント講座と健康体操をセットにした「爽（さわ）やか健康サークル」の活動を毎月柏ケ谷コミセンで実施しています。参加者が月ごとに増えてくるのが最大の喜びです。

芸術・趣味・娯楽部門
油彩・水彩・パステル画
中野百合子さん（国分北 在住）

「高齢者趣味の教室・水彩画」のOB・ゆりの会17人で活動しています。現在は月2回、水彩画を中心に、身近な静物・風景・花などをモチーフにして描いています。楽しく続けたいと思っています。

自然・社会生活部門
野外観察
伊藤健二さん（大谷在住）

主に植物の野外観察で、くらしのセミナーや雑木林などで講師をさせていただいています。自然部門の登録者が非常に少ないのが残念。もっと多くの仲間がいるとうれしいですね。

情報部門
パソコン
宇賀村（うかむら）充和さん（柏ケ谷在住＝中央奥）

先日、東建ふれあい会館でパソコン教室を始めました。44人の方が出席され、熱心に説明を聞いてくださいました。